市政報告第 131 号 竹内やすひろ



# 市攻载

Ⅴ明党

横短命会體具

竹内やすび



# 令和3年 第3回定例会報告

## コロナ対策強化のための補正予算成立 約400億円

第5波の感染爆発で新規陽性者は8月中旬にピークを迎えましたが、9月に入ってからようやく減少 傾向が見られました。これまでにない急激な減少は、ワクチン接種浸透の効果とも指摘されています が、冬場に向けた再拡大や、新たな変異株への備えは引き続き必要です。そこで、コロナ対策強化のた めの補正予算を計上し(10月22日成立)、ワクチン接種の更なる加速、新たな治療薬の導入、病床の 確保など、公明党の提案・要望を反映した施策の充実が図られています。

#### **《主な施策》**※一部推進中

#### ■ワクチン接種の加速へ

- 1. 若者向け接種センターの開設(対象:16 ~ 39 歳)
- 2. 深夜・早朝接種を実施
- 3. 高齢・障害者への訪問接種を促進
- 4.接種時間拡大(夜間 17 時以降対応)の会場増設など

#### ■自宅療養へ必要な医療提供

- 1. 抗体カクテル療法を本格実施
- 2.ステロイド投薬治療を本格実施
- 3.「コロナ専門病院」の開設を検討



#### ■市内の飲食店支援

「レシートを使ったポイン ト還元・キャッシュバック キャンペーン を実施



#### ■その他 (継続)

- 1.検査体制の充実、クラスター対策の強化
- 2. 重症・中等症患者の病床確保
- 3. 文化芸術企画の開催支援
- 4.MICE誘致・開催の支援

## 令和4年度 予算要望書を提出

10月22日、来年度に向けた公明党横浜市議 団の予算要望書を山中市長に提出しました。市 民の皆さまから頂いた切実な声を反映し、防 災・減災、子育て、教育、福祉などあらゆる分 野に目配りした425項目をしっかりと踏まえた 予算編成を要望しました。今後の議論を通し、 皆さまからの声を形にするべく全力で取り組ん で参ります。



#### 新新型コロナウイルスの 感染拡を踏まえた緊急要望

コロナ感染症の急拡大を受けて、公明党横浜 市議団として9月3日に市長への緊急要望を行 いました。中等症以上の患者の速やかな受け入 れのための病床確保、酸素投与や抗体カクテル 療法など新たな治療の早期提供、宿泊療養およ

び自宅療養者の見守り体制 の強化など、市民の命を守 るための具体的な対応を指 摘し、迅速な実施を求めま した。市長は、全力で取り 組むと応じました。

防災士



横浜市会議員

## 竹内やすひろ (たけうちやすひろ)

神奈川区政務調査事務所

横浜市神奈川区大口通り127-16コスガビル1F TEL: 045-716-6822 FAX: 045-716-6823 ホームページ https://takeuchi.180r.com

E-mail mail@takeuchi.180r.com

水道·交通委員会副委員長 基地対策特別委員会 神奈川県後期高齢者医療広域連合会議員 公明党横浜市会議員団 団長 公明党神奈川県本部 幹事長代理 公明党神奈川支部 支部長

公式ホームペー http://takeuchi.180r.com 市政報告第 131 号 竹内やすひろ

## 修学旅行キャンセル料の公費負担を要望

コロナ感染拡大に伴い中止になった、市立学校の移動教室や修学旅行のキャンセル料について、公費負担を求める要望書を教育長に提出しました。早期の具体化へ、次期補正予算案へ反映するよう、併せて強く申し入れています。教育長は、実現に向けて検討していく考えを示しました。



# 滅災・防災を社会の主流に

#### 第42回9都県市合同防災訓練

首都地域は、「首都直下地震」及び「東海地震」などの発生が懸念され大地震が発生した際の被害は、甚大なものとなることが予想されています。

九都県市 、埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県、 横浜市、川崎市、千葉市。さいたま市、相模原市) の合同防災訓練が横浜市みなとみらいの耐震バー スにて開催をされました。首都地域は、「首都直 下地震」及び「東海地震」などの発生が懸念され 大地震が発生した際の被害は、甚大なものとなる

#### マンション火災向けVR体験訓練



ことが予想されています。九都県市相互の連携協力体制の充実・強化を図るとともに、住民一人ひとりの防災知識や減災への備えの向上を目指しています。



横浜市民防災センターを視察。VR ゴーグルを装着して、マンションにおける火災時の行動を疑似体験をしました。

「初期消火訓練」「避難訓練」「通報訓練」の3シーンがあり、ガイドの解説により災害時の行動を学ぶことができます。VR を装着すると本当にその場所にいるという実感で体験することができ、実にリアルな体験訓練ができます。

### 横浜港を守る消防艇『まもり』を視察

32年ぶりの更新となる消防艇『まもり』を視察しました。全長24.5メートル、全幅6メートル、49トンの船で鶴見消防署鶴見水上消防出張所に配置。放水と機動性を両立させる6基のエンジンを備え、移動しながら消防車16台分にあたる毎分3万2千リットルを放水できるのが特徴です。

石油コンビナートなどの大規模火災や船舶火災、水難事故などさまざまな災害に対応し横浜の海から命を守ります。



